

3. 震災発生時から

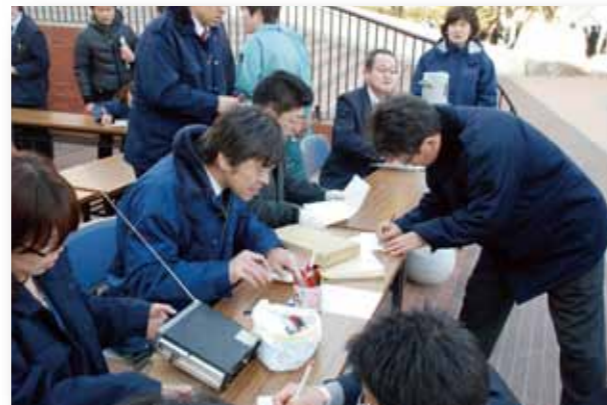
1. 災害対策本部の設置

地震発生直後の15時35分に、開成山野球場会議室に郡山市災害対策本部を設置し、情報の収集及び確認に努めるとともに、被害への対応や国・県及び関係団体等への要請を行いました。また、本部会議を定期的に行い、24時間体制で対応を続けました。

- ・第1回災害対策本部会議開催
平成23年3月11日 15時35分
- ・本部会議開催回数：130回



災害対策本部会議



開成山野球場前において、地震直後の被害集約



各部局は当初開成山野球場内通路に事務局を設置し対応



多数寄せられる問い合わせに対応

平成23年5月1日からは、災害対策本部をミュージカルがくと館（郡山市音楽・文化交流館）へ移動しました。平成24年8月6日からは、災害対策本部事務局を消防防災課（市役所分庁舎5階）へ移動し対応しています。

2. 市長・災害対策本部からの情報発信

震災発生直後から、テレビ・ラジオ・市ウェブサイト等を通じて、市民の皆さんへさまざまな情報提供を行ってきました。また、記者会見やテレビ・ラジオ・新聞等の取材を通して、市長からのメッセージを発信してきました。

(1) 市長記者会見（主な会見内容及び実施時期）

- ・地震に関する記者会見：平成23年3月13日
- ・原発事故に対する記者会見：平成23年3月19日
- ・表土除去等に関する記者会見：平成23年4月25日
- ・ホールボディカウンター設置に関する記者会見：平成23年9月7日
- ・ペップキッズこおりやま開設に関する記者会見：平成23年11月7日
- ・フランス公共放送インタビュー
- ・ニューヨークタイムズ取材 他多数



ラジオを通してメッセージ発信

(2) 広報こおりやま3月25日臨時号〈東北地方太平洋沖地震関係版〉の発行

発行部数：10,000部 A4判1枚

町内会へふれあいファックスで送付したほか、行政センター等公共施設に配置

3. 震災発生時から

3. 震災発生時から

(3) ウェブサイトによる情報発信

平成23年3月12日にウェブサイト復旧後、
災害関連情報を24時間体制で発信しました。

(4) メディアによる広報

- ・週間トピックス: 福島中央テレビ・福島放送・福島テレビ・テレビユー福島
- ・15分番組: 福島中央テレビ・福島放送
- ・15秒スポット: 福島中央テレビ・福島放送
- ・ラジオ広報番組: ラジオ福島・ふくしまFM
- ・新聞: 福島民報・福島民友

(5) ふれあいファックスによる周知

(6) 郡山コミュニティ放送(ココラジ)

開成山野球場内へサテライトスタジオを設置し、
生活関連情報を放送



ココラジサテライトスタジオ(開成山野球場入口)

3. 避難所の設置・運営

震災当日に避難所を開設し、3月12日には市内105か所の避難所に最大10,013人が避難しました。その後、物流やライフラインの回復などにより、徐々に避難者の数は減少し、6月30日には全ての避難所を閉鎖しました。

(1) 食事の提供

備蓄していたアルファ米やクラッカーのほか、自衛隊の炊き出しによるおにぎりやパン・弁当・全国から寄せられた支援物資の提供を行いました。また、ボランティア等による炊き出しも行われました。



炊き出しの様子

(2) 避難所への職員出動

市内各地に設置された避難所へ出動し、避難者の方の安全確保等に努めました。

・出動延べ人数: 4,533人

避難所の運営に当たっては、災害時応援協定に基づき、郡山市文化・学び振興公社、郡山市観光交流振興公社、郡山市社会福祉事業団の応援をいただきました。

・出動延べ人数: 528人(炊き出し応援含む)

(3) 保健師等の巡回

避難者の方の健康管理を図るため、市及び協会けんぽの保健師等による避難所巡回を行いました。

・出動延べ人数: 429人

(4) 健康教室の実施

保健師等が避難所を巡回し、エコノミークラス症候群(静脈血栓塞栓症)予防のための健康教室(講話・体操)を実施しました。

(5) 保育士の派遣

避難所で過ごす児童の保育や親子の心のケアを行うため、公立保育所の保育士を派遣し、母親の買い物時等の一時的保育、相談、絵本・紙芝居等の読み聞かせ等を実施しました。

・派遣延べ人数: 485人

(6) 灯油の支給

避難所へ暖房器具用の灯油を支給しました。

・支給灯油量: 6,606ℓ

(7) 仮設トイレの設置

避難所に仮設トイレを設置しました。

・設置数: 37基